

平成31年1月8日
宿毛漁業指導所

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるアカシオ サンガイネアが最大0.02細胞/ml、プロロセントラム属が最大0.57細胞/ml確認されました。基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.14細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	アカシオ サンガイネア	プロロセントラ ム属	アレキサンドリウム属
片島 (別図⑦) 採水時間 11:19 透明度 4.5 m	3.0	17.3	34.1	6.6	0	0.05	0
藻津① (別図⑨) 採水時間 10:59 透明度 13.0 m	10.0	18.7	34.6	6.3	0	0	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 10:42 透明度 13.0 m	10.0	18.7	34.6	5.9	0	1	0
真珠 採水時間 10:49 透明度 13.0 m	5.0	18.8	34.6	6.3	0	0	0
小筑紫中央① (別図⑬) 採水時間 10:36 透明度 15.0 m	10.0	18.7	34.6	6.2	0	0	0